

全国と同様に岩手県の新規感染者数は、高齢者施設や医療機関等の集団感染は多くみられるものの、全年代で減少傾向となっておりますが、昨年末からインフルエンザの一定点医療機関あたりの患者発生状況が流行開始の目安としている 1.0 を上回り、3年ぶりに流行期に入っています。今後も増加の継続が見込まれ、新型コロナウイルス感染症との同時流行のおそれがあります。

軽度の発熱や喉の痛みなどの場合には、外出は控えていただき、まずは市販薬等を服用し、様子を見るようお願いします。なお、65歳以上、又は基礎疾患のある方は、まずはかかりつけ医や診療・検査医療機関に事前に電話相談し、受診を検討してください。可能な限り平日・日中の医療機関等への相談・受診に御協力をお願いします。

また、発熱などの体調不良に備えて、1週間程度の食品や市販の抗原定性検査キットや解熱鎮痛剤などの準備をお願いします。

市民の皆様、一人一人の行動が医療現場の負荷の軽減につながります。医療体制の機能維持のため、御協力をお願いいたします。

市民の皆様には、小まめな手洗い、咳エチケット、場面に応じたマスク着用や空気清浄機、加湿器などを活用し、室内の温度や湿度を保ちつつ、小まめな換気を心掛けるなどの感染拡大防止に向けた取り組みと社会経済活動の両立を図り、持続可能な社会を実現していくために、引き続き御協力を重ねてお願いいたします。

令和5年2月8日

盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長（盛岡市長） 谷 藤 裕 明